

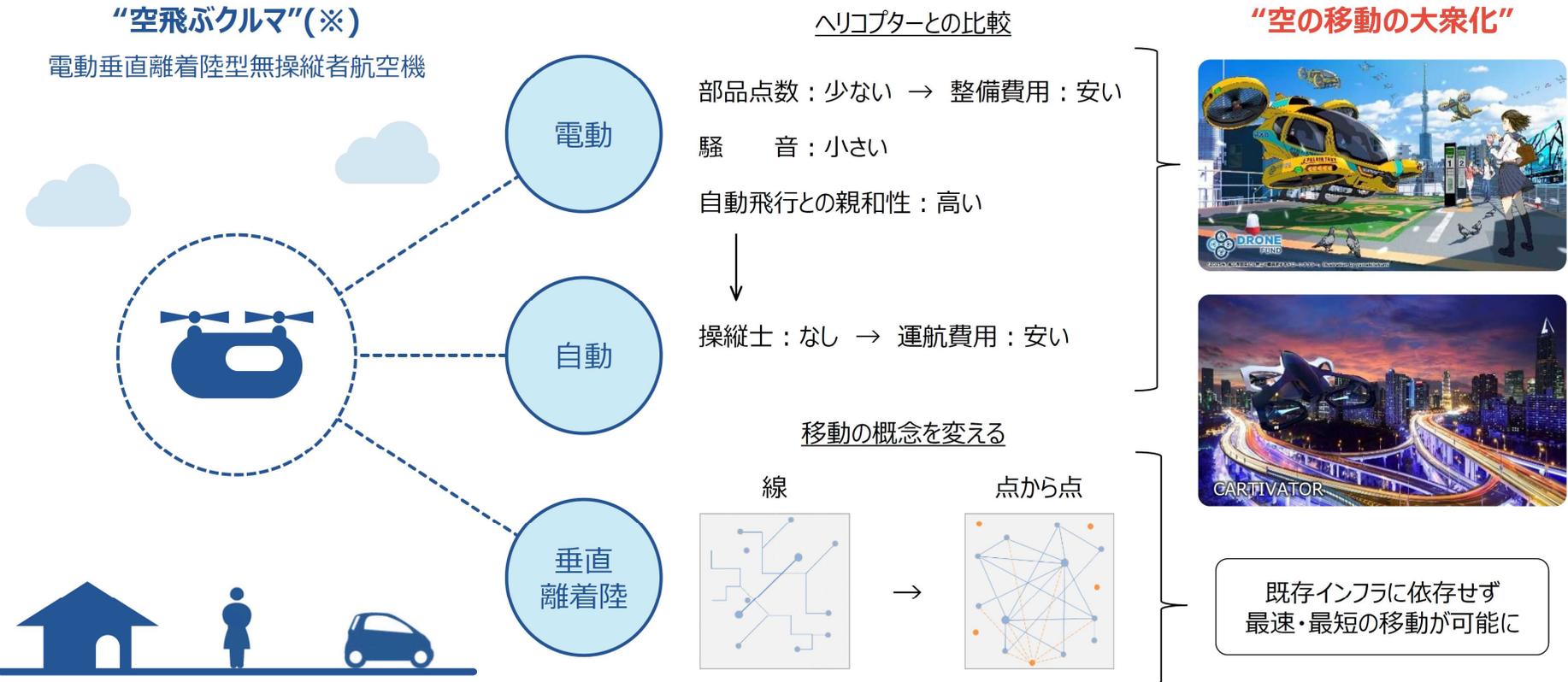
空飛ぶクルマに関する香川版 官民協議会の趣旨と進め方について

令和5年3月

香川県政策部政策課

空飛ぶクルマとは

- 明確な定義はないが、「電動」「自動」「垂直離着陸」がひとつのイメージ。機体、運航、インフラにかかるコストが安くなり、速くて安くて便利なヒト、モノの移動が可能に。 = “空の移動革命”
- この“空飛ぶクルマ”に乗って「好きなときに」「どこへでも：点から点へ」移動できる高度なモビリティ社会が実現すれば、日本の産業の発展と、**国内外の社会課題の解決が期待される。**



※「クルマ」と称するものの、必ずしも道路を走行する機能を有するわけではない。個人が日常の移動のために利用するイメージを表している。
※必ずしも「電動」「自動」「垂直離着陸」だけに限定されず、内燃機関とのハイブリッドや有人操縦、水平離着陸のものも開発されている。

出典：経済産業省
自治体職員向け
次世代空モビリティ勉強会資料（2021年2月）

国における検討体制

空の移動革命に向けた官民協議会
(2018.8.29～)

実務者会合
(2020.8.27～)

ユースケース検討会

大阪・関西万博×空飛ぶクルマ実装タスクフォース

機体の安全基準WG

操縦者の技能証明WG

運航安全基準WG

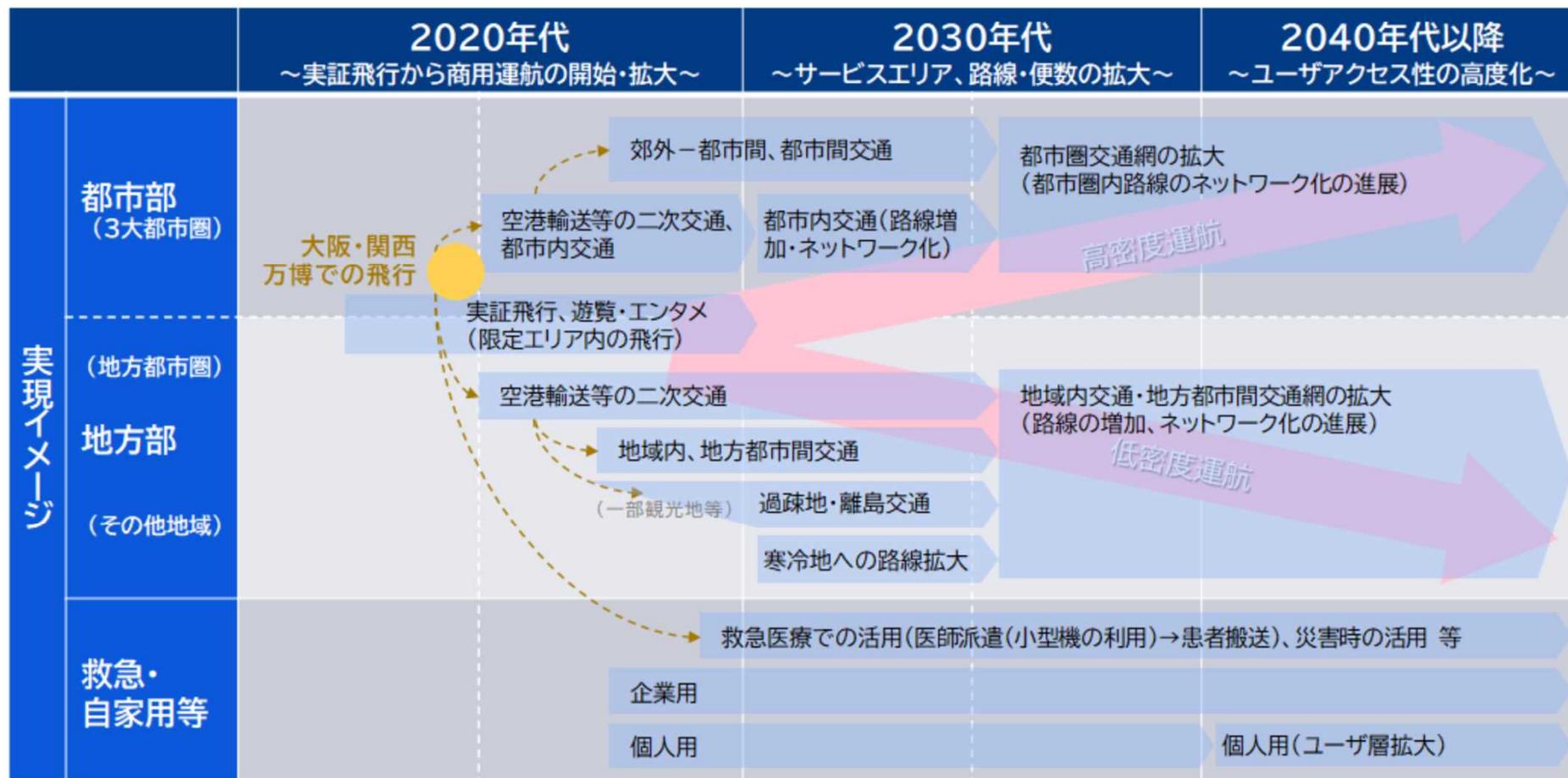
離着陸場WG

官民協議会 ユースケース検討会

「空飛ぶクルマ」による効果や課題解決（例）

- 安全、安価で低環境負荷（脱炭素、騒音低減、渋滞解消等）な都市交通サービスの実現
- 山間部や離島を含めた地方の移動を活性化
- 自動・自律化の進展により輸送に係る労働力不足の軽減、増大する社会インフラの維持・管理コストを低減
- 災害・緊急時の迅速な救急搬送や物資輸送の実現
- 空飛ぶクルマの機体開発から運航サービス提供、支援システムやポート等のインフラ整備、新規ビジネスへの波及といったエコシステム形成を通じて、新たな産業創出と国際競争力強化
- 電動化や再生可能エネルギーの利用推進等によるグローバルな地球温暖化防止への貢献

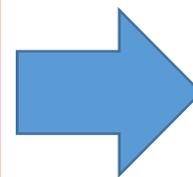
官民協議会 ユースケース検討会



出典：空の移動革命に向けた官民協議会
ユースケース検討会
目指すべき絵姿と中長期的な実装の流れ（2022年3月）

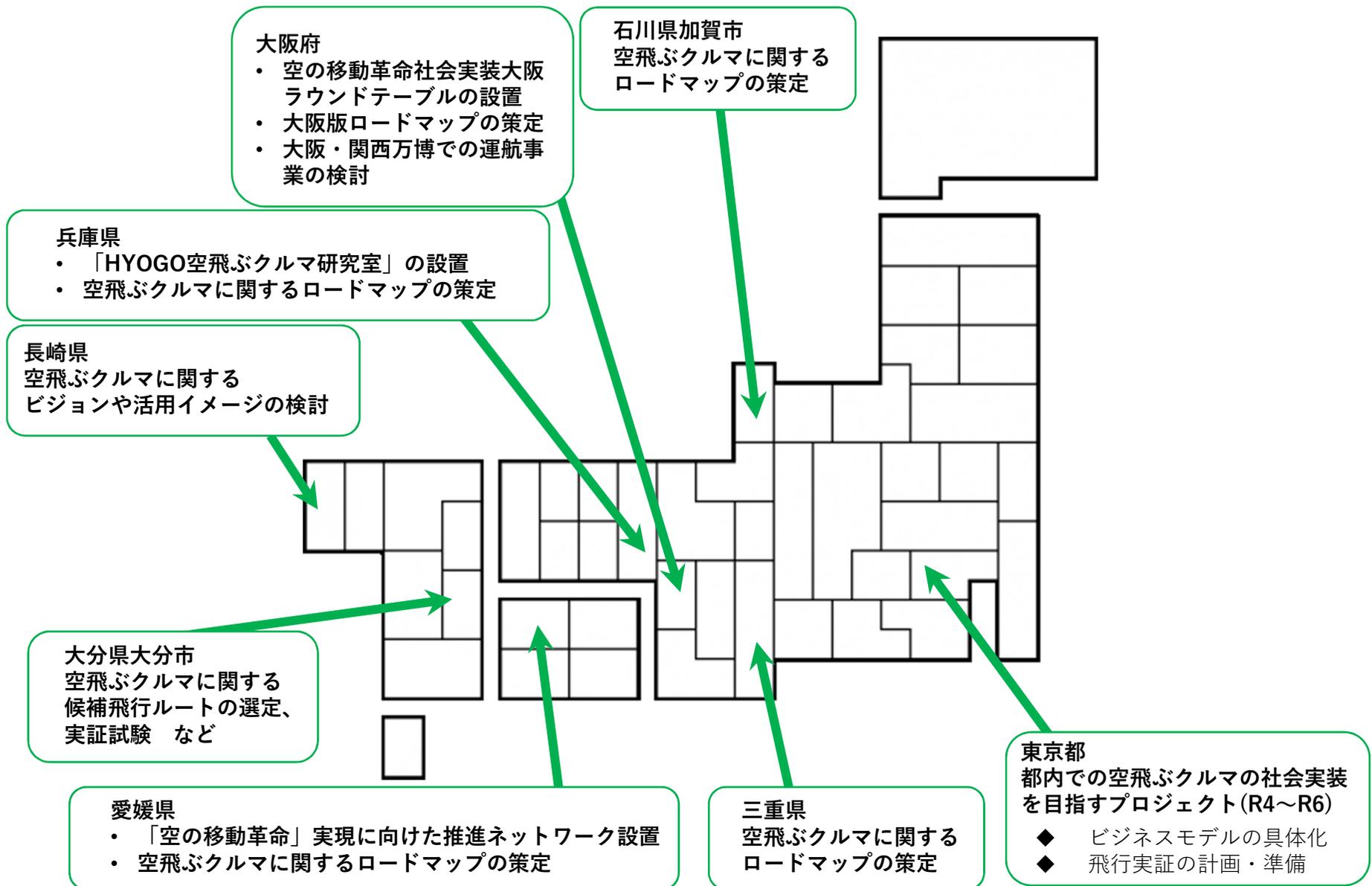
「空飛ぶクルマ」の実現に向けた課題

- 安全性の確保
- 経済性の確保
- 環境性の確保
- 運航環境の整備
- 利便性の確保
- 社会受容性の確保



地域ごとに
検討が必要

他自治体における取組み



※このほか、各地で空飛ぶクルマの実証試験等が行われている。

空飛ぶクルマに関する香川版官民協議会の当面のテーマ

- 空飛ぶクルマによって、香川県においてどのような社会や街を実現できるか
- 香川県の地域課題解決に必要なとなる飛行ルート（離着陸場の場所）はどういったものが考えられるか
- どのようにして社会受容性を高めていくか

空飛ぶクルマに関する香川版官民協議会の進め方（予定）

R5年度

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

第2回会議

第3回会議

第4回会議

空飛ぶクルマに関する最新情報の共有

空飛ぶクルマにより実現を目指す
香川県の将来像の整理

空飛ぶクルマの県内展開に向けた
課題の整理

候補飛行ルート
(頭出し)

候補飛行ルート
(絞り込み)

候補飛行ルートの需要予測等調査（香川県）